

作成日 2017 年 6 月 30 日

改訂日 2018 年 3 月 02 日

## 安全データシート (SDS)

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : ネオポアー アクチベーター  
会社名 : 株式会社アイセイ  
住所 : 大阪府和泉市唐国町 1 - 6 - 1  
担当部門 : 技術部 (TECHNICAL Div.)  
電話番号 : 0 7 2 5 - 5 4 - 3 0 5 0  
FAX 番号 : 0 7 2 5 - 5 4 - 1 9 7 0

### 2. 危険有害物の要約

#### 【GHS 分類】

物理化学的危険性	分類できない	
健康に対する有害性	皮膚腐食性・刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分 1
環境に対する有害性	分類できない	

※記載の無いものについては分類対象外又は分類できない

#### 【GHS ラベル要素】

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 重篤な眼の損傷
注意書き	
安全対策	粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 取り扱い後は製品に触れた部分をよく洗うこと。
応急処置	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で 休息させること。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。  
皮膚を流水/シャワーで15分以上洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を適切な廃棄方法によって廃棄すること。

---

### 3. 組成・成分情報

単一製品，混合物の区別：混合物

化学名	CAS 番号	含有量 wt%
乳酸	50-21-5	26-28

---

### 4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清水で15分以上よく洗い（コンタクトレンズを入れている方は外して）、上下瞼の裏側も含めて洗眼する。

異常の残る場合は、本品を持参の上、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：直ちに大量の水でよく洗い流す。その後は必要に応じてスキนครリームなどで手入れをする。

異常の残る場合は、本品を持参の上、医師の診断を受ける。

吸入した場合：直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温して安静を保つ。

異常の残る場合は、本品を持参の上、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：直ちに口内を良くすすぎ、必要に応じて水を飲ませ、無理に吐かせない。

異常の残る場合は、本品を持参の上、医師の診断を受ける。

---

### 5. 火災時の措置

消火剤：粉末消火器、泡消火器

消火方法：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。  
周囲の設備などを散水して冷却する。

消火を行う者の保護：消火活動は可能な限り風上から行い、有毒なガスの吸入を防ぐとともに、消火活動では適切な保護具を必ず着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：漏出防止作業は必ず保護具を着用し、換気・通気を励行する。

環境に対する注意事項：漏出物を直接河川や下水に流出させない。

除去方法：付近の着火源となるものを取り除き、土砂などの不燃物を用いて流出物を吸収して、化学品廃棄容器に回収する。  
少量の場合は大量の水で希釈して流出する。(必要に応じ、ソーダ灰、苛性ソーダ、石灰で中和する。)

---

## 7. 取扱・保管上の注意

取扱技術的対策：・作業場の換気を充分に行い、必ず保護具を着用する  
・火気の近くで取扱わない  
・他の製品と併用、混用しない  
・用途外には使用しない  
・長時間に亘って容器を開放したままにしない  
・必ず水洗所を設ける  
・酸性物質であるので、アルカリ性物質との接触には注意する。

保管条件：・直射日光を避ける  
・通気の良い冷暗所に密栓保管する  
・火気、熱源から遠ざけて保管する

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：必ず通風（換気）、排水を良くし、近くに手洗所を設ける。火気は避ける。

管理濃度：特に設定されていない。

許容濃度：特に設定されていない。

保護具：眼に対する保護具…保護メガネ  
手に対する保護具…保護手袋（ゴム製等）  
その他…必要に応じて前掛けや簡易マスクを着用する

---

## 9. 物理的及び化学的情報

外観：無色透明液体  
臭い：僅かに酸臭  
pH：1.0～2.0（20℃）  
引火点：なし  
自然発火温度：データなし  
自然揮発性：データなし

比重 : 1.03~1.09  
水溶性 : 水に混和

---

## 10. 安全性及び反応性

安定性 : 通常の取り扱い条件においては安定  
反応性 : アルカリと反応し、中和熱を發する。  
避けるべき条件 : 裸火、過熱、日光  
混触危険物質 : 強アルカリ  
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素

---

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口 ラット LD50) : 推定値…6,000mg/kg 以上  
皮膚腐食性/刺激性 : 重篤な皮膚の薬傷、眼の損傷  
眼に対する重篤な損傷性/刺激性 : 重篤な眼の損傷  
呼吸器感作性/皮膚感作性 : データなし  
生殖細胞変異原性 : データなし  
発癌性 : データなし  
生殖毒性 : データなし  
特定標的臓器毒性 (単回暴露/反復暴露) : データなし  
呼吸性呼吸器有害性 : データなし

---

## 12. 環境情報

生態毒性 : データなし  
残留性/分解性 : 分解性良好  
生体蓄積性 : データなし  
土壌中の移動性 : データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

- ・本製品を含む洗浄廃水及び残余廃棄物等は、そのままの状態ですらに埋め立てたり、そのままの状態ですらに直接河川等に流すことは避け、関係法規・条例や各自治体の指示に従って処理して下さい。
  - ・中和法で処理する場合は、多量の水や中和剤で pH を中性に調整してから処理して下さい。
- 

## 14. 輸送上の注意

- ・運搬に際しては容器の破損、漏れ、栓の閉まり具合を確かめ、火気、衝撃、転倒、

落下、破損、漏洩を生じないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

※その他輸送関係法規を厳守する。

---

## 15. 適用法令

- |             |         |
|-------------|---------|
| ・ P R T R法  | : 該当しない |
| ・ 労働安全衛生法   | : 該当しない |
| ・ 毒物及び劇物取締法 | : 該当しない |
| ・ 消防法       | : 該当しない |

---

## 16. その他

本資料は製品に関する情報提供を目的としたものであり、記載のデータや評価に関しては当該製品の全ての安全性やその他の特性を保証するものではなく、経験に基づき一つの目安として参考にするものですので、実際の使用にあたっては説明書などで充分御理解の上でお取り扱い下さい。

作成日 2017年6月30日

改訂日 2018年3月02日

## 安全データシート (SDS)

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : ネオポアー ベース  
会社名 : 株式会社アイセイ  
住所 : 大阪府和泉市唐国町1-6-1  
担当部門 : 技術部 (TECHNICAL Div.)  
電話番号 : 0725-54-3050  
FAX番号 : 0725-54-1970

### 2. 危険有害物の要約

#### 【GHS分類】

物理化学的危険性	分類できない	
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分3
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分2A
	生殖細胞変異原性	区分2
環境に対する有害性	水生環境有害性 (急性)	区分2
	水生環境有害性 (長期間)	区分2

※記載の無いものについては分類対象外又は分類できない

#### 【GHSラベル要素】

絵表示



注意喚起語	警告
危険有害性情報	軽度の皮膚刺激
	強い眼刺激
	遺伝性疾患のおそれの疑い
	水生生物に毒性
	長期継続的影響により水生生物に毒性

## 注意書き

安全対策	粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 取り扱い後は製品に触れた部分をよく洗うこと。
応急処置	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 皮膚を流水/シャワーで15分以上洗うこと。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	内容物/容器を適切な廃棄方法によって廃棄すること。

## 3. 組成・成分情報

単一製品，混合物の区別：混合物

化学名	CAS 番号	含有量 wt%
亜塩素酸ナトリウム	7758-19-2	1.4-1.6

## 4. 応急措置

眼に入った場合	: 直ちに清水で15分以上よく洗い（コンタクトレンズを入れている方は外して）、上下瞼の裏側も含めて洗眼する。 異常の残る場合は、本品を持参の上、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに大量の水でよく洗い流す。その後は必要に応じてスキんクリームなどで手入れをする。 異常の残る場合は、本品を持参の上、医師の診断を受ける。
吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温して安静を保つ。 異常の残る場合は、本品を持参の上、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに口内を良くすすぎ、必要に応じて水を飲ませ、無理に吐かせない。 異常の残る場合は、本品を持参の上、医師の診断を受ける。

---

## 5. 火災時の措置

消火剤 : 散水、水噴霧

使ってはならない消火剤 : 粉末消火剤、泡消火薬剤

消火方法 : ガスの滞留しない場所で風上より消化し、漏洩防止処置を施す。  
火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。  
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護 : 高温または燃焼により一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが発生するので、消火作業には場合によっては、一酸化炭素用防毒マスクまたは自給式呼吸器などを着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 漏出防止作業は必ず保護具を着用し、換気・通気を励行する。

環境に対する注意事項 : 漏出物を直接河川や下水に流出させない。土壌汚染を防止する。

除去方法 : 付近の着火源となるものを取り除き、土砂などの不燃物を用いて流出物を吸収して、化学品廃棄容器に回収する。

---

## 7. 取扱・保管上の注意

取扱技術的対策 : ・作業場の換気を充分に行い、必ず保護具を着用する

- ・火気の近くで取扱わない
- ・他の製品と併用、混用しない
- ・用途外には使用しない
- ・長時間に亘って容器を開放したままにしない
- ・必ず水洗所を設ける
- ・酸性物質との接触には注意する。

保管条件 : ・直射日光を避ける  
・通気の良い冷暗所に密栓保管する  
・火気、熱源から遠ざけて保管する

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 必ず通風（換気）、排水を良くし、近くに手洗所を設ける。火気は避ける。

管理濃度 : 特に設定されていない。

許容濃度 : 特に設定されていない。

保護具 : 眼に対する保護具…保護メガネ  
手に対する保護具…保護手袋  
呼吸器の保護具…呼吸器保護具



その他…必要に応じて前掛けや保護衣を着用する

---

## 9. 物理的及び化学的情報

外観	: 無色～微黄色透明液体
臭い	: 僅かに塩素臭
pH	: 約 10.0
引火点	: なし
自然発火温度	: データなし
自然揮発性	: データなし
比重	: 1.00～1.05
水溶性	: 水に混和

---

## 10. 安全性及び反応性

安定性	: 通常取り扱い条件においては安定だが、長期間高温での保管や直射日光、紫外線により徐々に分解し二酸化塩素を発生する可能性がある。
反応性	: 情報なし
避けるべき条件	: 直射日光、火気
混触危険物質	: 酸類、硫黄、硫黄化合物、油脂、その他可燃性物質、酸化されやすい物質との混触を避ける。
危険有害な分解生成物	: 二酸化塩素ガス

---

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口 ラット LD50)	: 推定値…6,000mg/kg 以上
皮膚腐食性/刺激性	: 軽度の皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: 強い眼刺激
呼吸器感作性/皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: 遺伝性疾患のおそれの疑い
発癌性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回暴露/反復暴露)	: データなし
呼吸性呼吸器有害性	: データなし

---

## 12. 環境情報

環境有害性	
水生環境有害性 (急性)	: 水生生物に毒性

水生環境有害性（長期間）：長期継続的影響により水生生物に毒性

生態毒性 : データなし

残留性／分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

---

### 13. 廃棄上の注意

- ・本製品を含む洗浄廃水及び残余廃棄物等は、そのままの状態ですらに埋め立てたり、そのままの状態ですらに直接河川等に流すことは避け、関係法規・条例や各自治体の指示に従って処理して下さい。
- ・中和法で処理する場合は、多量の水でpHを中性に調整してから処理して下さい。

---

### 14. 輸送上の注意

- ・運搬に際しては容器の破損、漏れ、栓の閉まり具合を確かめ、火気、衝撃、転倒、落下、破損、漏洩を生じないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
- ※その他輸送関係法規を厳守する。

---

### 15. 適用法令

- ・P R T R法 : 該当しない
- ・労働安全衛生法 : 該当しない
- ・毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- ・消防法 : 該当しない

---

### 16. その他

本資料は製品に関する情報提供を目的としたものであり、記載のデータや評価に関しては当該製品の全ての安全性やその他の特性を保証するものではなく、経験に基づき一つの目安として参考にするものですので、実際の使用にあたっては説明書などで充分御理解の上でお取り扱い下さい。